

H24.02.16 「お人好しを食い物にする民主党」

こんにちは、参議院議員の西田昌司です。本日は2月16日です。本日の朝のニュースで宮津の78歳のお年寄りが2600万円を振り込み詐欺でだまし取られたということを報道しておりました。このように莫大な金額を搾取する振り込み詐欺が後を絶たないのですが、この方は親戚の方に振り込んだことを相談して初めて、自分が騙されたということに気付いたそうです。私はこのニュースを聞いた時にあることに気がつきました。要するに、この詐欺は騙す手口が巧妙であるのですが、この手口は民主党政治にも通じるところがあるのです。民主党が政権をとってから経済も安全保障も、とにかく滅茶苦茶な状態になっております。そして、結果として出鱈目な状態になっているだけではなく、そもそも言ったことと、やったこととが全く違うのですから、手続きとしても出鱈目なのです。これ程までに出鱈目な事を行っていたら、政治の当事者として内閣を組むなど有り得ないのですが、未だに彼らの政権が続いている。一体これは何なのかということです。さらに言えば、未だに支持率も持ちこたえております。この事を考えますと、振り込み詐欺と似ているのです。私は、今の民主党は振り込み詐欺と同じです。言っていることと、やっていることが食い違っているのですから詐欺と呼んでも差し支えないと思っております。ただ、投票している方々は詐欺と思って投票しているのではないのです。とにかく「良い人」だと納得して投票しているのです。このような構造が人間にはあり

ます。

私はビデオレターを含めまして様々な場所で講演を行います。中には先日の京都市長選のように応援演説にも行ったわけです。当然のことながら演説の中に民主党政権の問題点にも言及します。もちろん会場は自民党支持者の方々が大勢ですが、中には前原さんの支持者などもいらっしゃいました。そして、私が民主党の批判を行いますと、ある方が主催者の方に後から文句をつけてきたということを伺いました。文句を言っても結構なのですが、私に言わせれば、そのような人は本当にどうしようもないのです。そもそも民主党支持者の方が、民主党が批判されていることに対して文句を言うこと自体、信じられないのです。何故、民主党の立場を守ろうとすることが出来るのでしょうか。彼らが行っていることは出鱈目であり、何か一つでもまともな事を行ったかといえ、私は何一つ無いと思います。ですから、批判されることは当然であります。要するに、批判されていることに文句を言う方は、民主党や前原さんを支持している自分が批判されていると勘違いしてしまっているのです。ですから、自分自身が批判されていると思ってしまい、民主党批判をしている私に、文句を言うのです。しかし、冷静に考えて頂ければ、可笑しい話であります。事実として民主党政権は出鱈目なことしか行っておらず、結局は民主党を支持している自分が非難されていると思って文句を言っているのだと思いますが、それはそれで正しいのです。まさに民主党を選んだ人達が間違っているのです。

つまり、自分達があればほどまでに酷い政党を選んでしまったことを心底反省すれば、二度と民主党に政権をとらせることはないのです。ところが、拙かったと思っておりますから、結局は非難をしている人に対して不満をぶつけるのです。このことは大変、大きな間違いであります。つまり、私が批判されるのは構わないのですが、本来なら批判の対象となるのは愚かな行為を行っている人物であるし、更に言えば、そのような人に投票した方々にも深く考えて頂かなければなりません。これはどうゆう事かと言えば、民主党がこれ程までに出鱈目を行っているのに出鱈目ではないと思っているのです。これは、振り込め詐欺と同じであります。「振り込め詐欺には気をつけなさいよ」と言われているのにも関わらず、振り込んでしまうのには、そこに何らかの合理性を感じてしまうからに他ありません。そして、注意しても振り込んでしまう方は、自分が騙されていると認識していないのです。彼らは、最後の最後、自分のお金が無くなって、払ったお金が返ってこず、赤の他人に振り込んだのだと分かってから気がつくのですが、恐らく、今の民主党に対する評価は、振り込め詐欺にあっていると気づいていない層の方が沢山いるから持ちこたえていると思います。そして、このような方々が自民党支持者の会にも参加しているということなのです。こうなりますと、このような方々は救いようがありません。要するに、いくら騙されようが、いくら出鱈目をされようが、自分自身が信じた人には最後まで付いていくという方々なのです。民主党は熱烈なファンを持つ

ているということで、ある意味では羨ましいのですが、実はなぜこのような方々が現れるのかと言えば、政治でも政策や人柄で選んでいるのではなく、自分の最良のタレントがテレビに出演して頑張っているというのが支持の理由なのでしょう。そして、最良の人を「ダメだ」と言う、私のような人間は彼らにとっては悪役なのです。しかし、政治はタレントの映画を観ているのではありませんし、俳優の舞台を観ているではありません。政治というのは自分の命もかかっているのです、そして選んだ人の命をもかかっているのです。投票した人自身の生活そのものが政治によって決められているのです。民主党政権になって、生活は良くなったのでしょうか。悪くなったのではないのでしょうか。自分が選んだ人を信じるのは勝手ですが、自分の目が誤っていたということを認めなければ、いつまで経っても騙されているということに気づかない状態になってしまうのです。振り込め詐欺が無くならないのもまさに、このような日本人の特性があるのではないのでしょうか。本日はこのようなことを感じさせられたニュースがあったのです。私も、このような人を相手に国会で議論した結果、京都においても様々な場で非難を浴びるというのは非常に不本意ではありますが、これも仕方がありません。私は一人でも多くの国民が振り込め詐欺に遭わないように、目を覚まして頂きたいと思います。本日も御覧頂きありがとうございました。